

コリント
第二
⑨

「惜しみなく
豊かに喜んで」

コリント人への手紙Ⅱ 9章 エルサレム教会への献金



アウトライン

0. イントロダクション

I. コリント教会が決めた献金 1～9節

II. エルサレム献金の結ぶ実 16～24節

III. まとめと適用

惜しみなく、豊かに、喜んで献げ、
主を証ししよう。

コリントの手紙第二とは？

- **著者** …使徒パウロ。
- **年代** …第一(55年)の2年後、57年頃。
- **執筆場所** …コリントへの途上、ピリピ。
- **対象** …コリントのキリスト者たち
(離散のユダヤ人と異邦人)
- **目的** …アフターケア。献金の促し。
非難への弁明。再訪問の備え。



パウロのコリント訪問

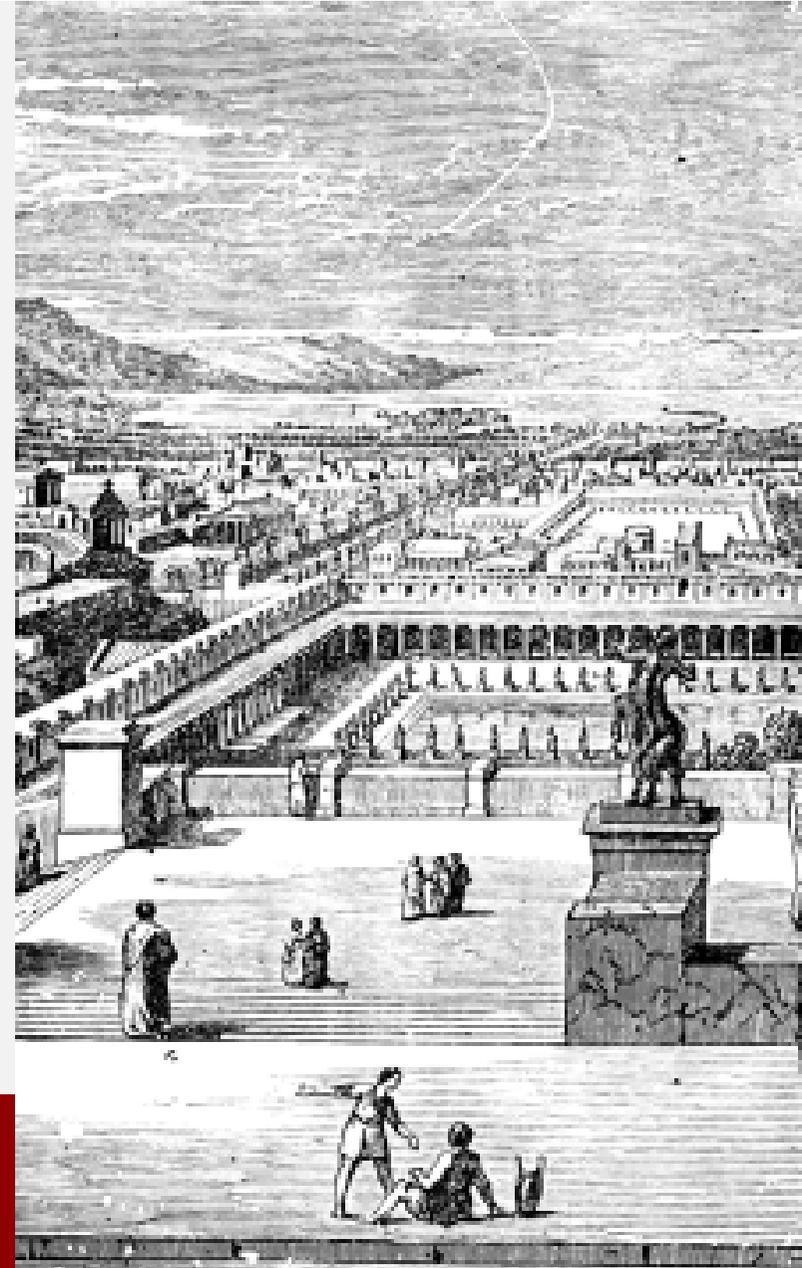
- ① 最初の訪問 (第二次旅行) ・ 1年半滞在 50年
- ② エペソ滞在中 (第三次旅行) 手紙 A を送付
第一の手紙を送付 54～55年
- ③ 二度目の訪問 (Ⅱ コリ 13:2) 55年
手紙 B (悲しみの手紙) を送付
- ④ コリントへの途上で (ピリピ?)
テトスと合い、現状を聞く
第二の手紙を送付 55～56年
- ⑤ 三度目の訪問 55～56年



【コリントとコリント教会】

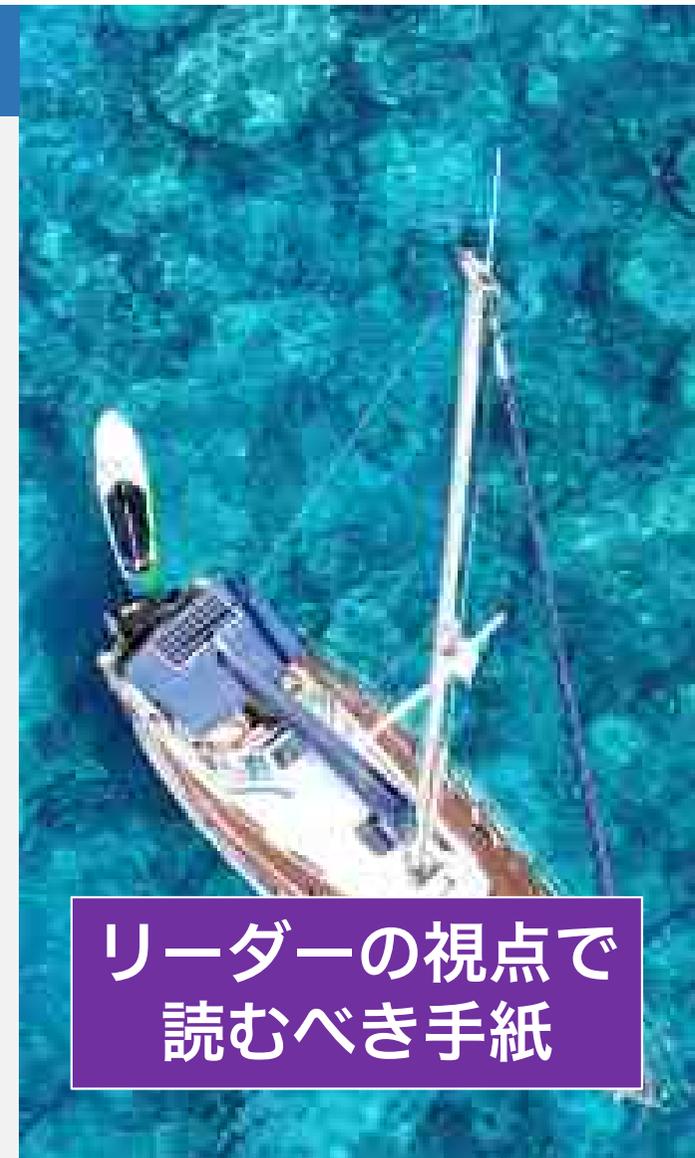
- アカヤ州(ギリシャ南部)の州都
国際都市。ローマ人、ギリシャ人…etc。
かなりの規模のユダヤ人共同体も存在。
- **不道德**の町。少年への性愛、複数の愛人。
神殿娼婦の存在。 **偶像崇拜**が蔓延。
- 異邦人信者が主流。偶像への警戒の薄さ。
基本的教理からの逸脱。自由のはき違え。

第一の手紙の後に変化はあったのか？



第二の手紙の特徴・テーマ

- 第一の手紙は、コリントの信徒もよく知っているはずの**信仰のイロハのイ**を確認するもの。
- 変化もあった一方で、パウロに強まる反感も。
 - ① グッドニュース…罪を犯した人の悔い改め
 - ② 残念なニュース…献金が集まっていない
 - ③ バッドニュース…パウロの使徒性への疑い
- **伝えるべきこと**は、第一の手紙に執筆済み。さらに加えるとすれば、**パウロ自身の思い**。
→ **感情**が強く表れた手紙になっている。



リーダーの視点で
読むべき手紙

パウロの思いをくみ取り、リーダーとして私の信仰を成長させよう



I. コリント教会が決めた献金

Ⅱコリント9章1～9節

ギリシャ・海沿いの道

【この奉仕】 Ⅱ コリ9:1

聖徒たちのためのこの奉仕*については、これ以上書く必要はありません*。

*エルサレムの教会のための支援献金

*コリントの人々には周知の事実であるから。

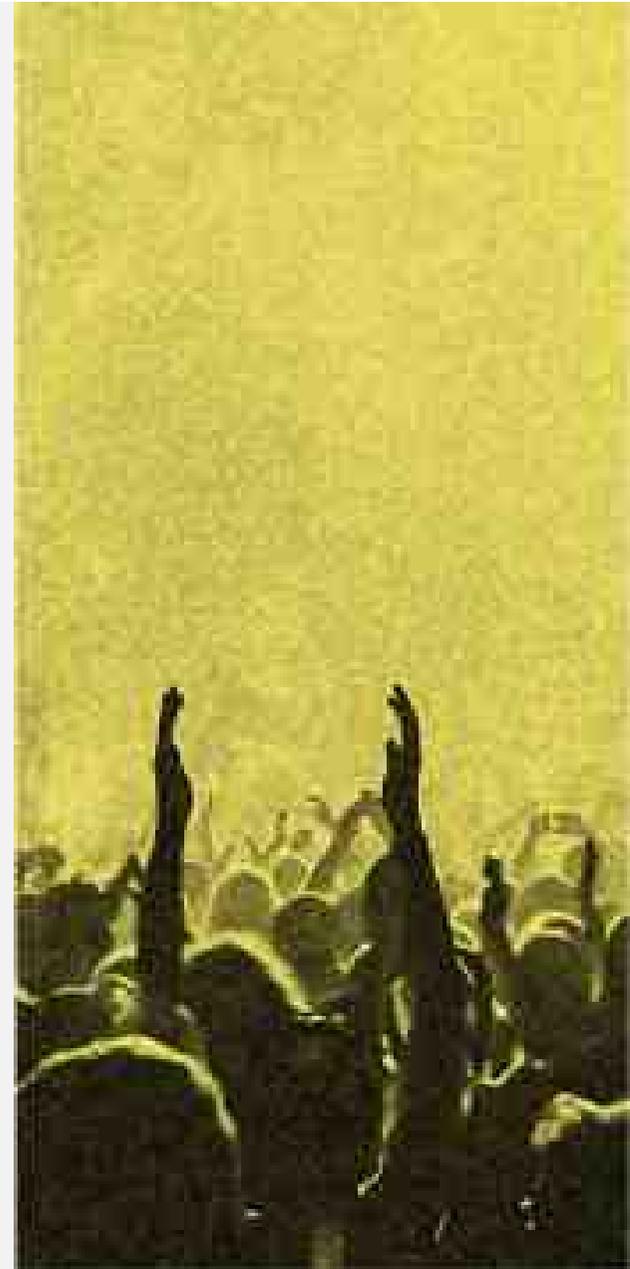
➔その内容は次節以降に記述。



【コリントの熱意】 II コリ9:2

私はあなたがたの熱意を知り、そのことでマケドニアの人々にあなたがたのことを誇って、アカイアでは昨年から準備ができていると言ったのです。あなたがたの熱心は多くの人を奮い立たせました。

- エルサレム献金の言い出しっぺは、コリント。一時期は熱心に取り組み、マケドニアの人々も、コリントの熱心さを知って献金を始めた。
→ しかし、そのコリントで献金は停滞…。



【空しくならないため】 Ⅱコリ9:3~4

私が兄弟たちを送るのは、あなたがたについての私たちの誇りが、この点で空しくならないためであり、私が言っていたとおりに準備してもらおうためです。

そうでないと、もしマケドニアの人々が私と一緒に行って、準備ができていないのを見たら、あなたがたはもちろんです、私たちも、このことを確信していただけに、恥をかく*ことになるでしょう。

*“カテスクノー” …失望する(ロマ10:11他)。



【エルサレム献金は祝福】 Ⅱコリ9:5

そこで私は、兄弟たちに頼んで先にそちらに行ってもらい、あなたがたが以前に約束していた**祝福(の贈り物)***を、あらかじめ用意しておいてもらうことが必要だと思いました。惜しみながら*するのではなく、**祝福の贈り物***として用意してもらうためです。

*エウロギアン …祝福(Ⅰペテロ3:9他)

※エウアンゲリオンは、福音。語源は共通。

*プレオネクシア …貪欲(マルコ7:22他)

→「貪欲のようにではなく、**祝福**のように」



【心で決めたとおりに】 II コリ9:6~7

私が伝えたいことは、こうです。わずかだけ蒔く者はわずかだけ刈り入れ、豊かに蒔く者は豊かに刈り入れます。

一人ひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、**心で決めたとおりに***にしてください。神は、喜んで与える人を愛してくださるのです。

***コリントの信徒が心で決めたこととは？**

- ➔ 熱意に燃え、エルサレムのメシアニック・ジューへの献金を募り、送ることを決めた。
- ➔ まず、神に献げる分を決めて取り分ける。



主の前で
決めたことを
行わないのが
何よりの問題

【惜しみなく献げる者の恵み】 Ⅱコリ9:8

神はあなたがたに、あらゆる恵みをあふれるばかりに与えることがおできになります。あなたがたが、いつもすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれるようになるためです。

■ **惜しみなく** (5節)、 **豊かに** (6節)、
よろこんで (7節)、 献げる者は、
神から、溢れるばかりの恵みを与えられ、
すべてのことに満ち足り、
すべてのよい業にあふれる。

心で決めるべき
献金の前提!!



【主を恐れ、御言葉を喜ぶ者の義】 Ⅱコリ9:9

「**彼**は貧しい人々に惜しみなく分け与えた。彼の義は永遠にとどまる*」と書かれているようにです。

*詩篇112:9。

彼 = 「主を恐れ、その仰せを大いに喜ぶ者(1節)」

■主を恐れ、主の御言葉をよろこぶ信仰者は、惜しみなく与える。

➔聖書フォーラムのつながりの中で、日々実感させられていること!!





Ⅱ. エルサレム献金の結ぶ実 Ⅱコリント9章10～15節

【義の実】 II コリ9:10

種蒔く人に種*と食べるためのパン*を与えてくださる方は、あなたがた*の種を備え、増やし、あなたがたの義の実*を増し加えてくださいます。

*肉体を養う種、パン。信仰を養う種、パン。

➔ここでは、どちらの意味も重なっている。

*惜しみなく豊かに喜び献げる“あなたがた”

*神に評価される、神の義と一致した“義の実”

➔具体的な内容は次節。



【義の実の内実】 II コリ9:11

あなたがたは、あらゆる点で豊か*になって、
すべてを惜しみなく与える*ようになり、それが
私たちを通して神への感謝を生み出す*のです。

*惜しみなく、豊かに、喜び献げた結果、
あらゆる点で豊かになり、すべてを惜しみ
なく与え、神にさらに感謝するようになる。

- 喜んで与える → 心身共に豊かになる
- すべて惜しみなく与える → 神に感謝する
- さらに喜んで与える → **献げ物の好循環!!**



【奉仕の務めの結果】 Ⅱ コリ9:12

なぜなら、この奉仕の務め*は、聖徒たちの欠乏を満たすだけでなく、神に対する多くの感謝を通してますます豊かになるからです。

*エルサレム献金のこと

■エルサレムのメシアニック・ジューのための献金は、コリントの人々に感謝をあふれさせ、ますます豊かにならせていく。

→「なさは、人のためならず」

→「献金は、人のためならず」



【すべての栄光は主に】 II コリ9:13

この務め*が証拠*となっていて、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、自分たちや、すべての人に惜しみなく与えていることを理解して、神をあがめる*でしょう。

*ディアコニアス…もてなし(ルカ10:40)、奉仕

*ドキネー …練られた品性(ロマ5:4)

*“(神の)光を輝かす” → 神の栄光がゴール

■ 献金の奉仕が、練られた品性となり、福音宣教への従順さの証しとなり、惜しみなく与える者であることが理解され、神に栄光が帰される。



【献金が深める絆】 II コリ9:14~15

そして彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた、神のこの上なく豊かな恵み*のゆえに、あなたがたを慕うようになります*。ことばに表せないほどの賜物のゆえに、**神に感謝します***。

* 献金の結果として与えられた恵み

* あなた方を熱望し、あなた方のために祈る

■ メシアニック・ジューのための献金の結果、ユダヤ人と異邦人の信仰者の絆が深められ、キリストの教会が堅固に建て挙げられていく。



*** 将来を確信して
神に感謝するパウロ**

The background of the slide is a photograph of two hands held up in a gesture of prayer or offering. The hands are silhouetted against a bright, warm sunset or sunrise sky, with the sun low on the horizon, creating a strong backlighting effect. The overall mood is one of devotion and hope.

Ⅲ. まとめと適用

惜しみなく、豊かに、喜んで献げ、
主を証ししよう

コリント教会にとってのエルサレム献金の恵み

- コリントの人々自身が熱心に始め、マケドニアの教会を動かした。が、コリントでは献金は停滞。勧告も空しく数年が過ぎていた。
 - ➔ 約束した献金の完遂を求め、パウロは先遣隊を送り出した。
- パウロがコリントの人々に求めたのは、主の前で心で決めた通り、**惜しみなく、豊かに、喜んで**献げること。
 - ➔ 結果、あらゆる点で豊かになり、すべてを惜しみなく与え、神を感謝するようになる。彼ら自身の信仰が大きく育まれる。
 - ➔ エルサレムの聖徒は、神をあがめ、コリントの人々を慕い、祈り、キリストの教会は、さらに堅く建て上げられていく。

異邦人信者のユダヤ人信者への献金の原則

ローマ 15:27 「彼らは喜んでそうすることにしたのですが、聖徒たちに対してそうする**義務**もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。」

- ① ユダヤ人信者の同胞からの排除、エルサレム信者の困窮が背景に。
- ② 異邦人信者が多数だったコリントはじめ、マケドニアの諸教会も喜んで献金に参加した。
- ③ 霊的恵み、福音は、ユダヤ人から、異邦人にもたらされた。
ユダヤ人信者を支えることは、すべての異邦人信者の**普遍的義務**
→これにより、教会は豊かにされ、堅く建て上げられていく。

旧約時代の献げ物

- 全焼のささげ物 …すべて神に献げた。
- 和解のささげ物 …重要な部分は神へ。後は自分たちで食べた。
- 贖いのささげ物 …罪を犯して悔い改める時に献げた。

- 羊、ヤギ、牛の初子を献げた。人、馬、ろばの初子は身代わりを。
- 出生、成人の時の献げ物。人生の折々の節目でも。
- 収穫の十分の一。落ち穂(収穫の一部)は、社会的弱者のために。

- 献げ物の一部は祭司をまかなうため。祭司自身も民同様に献げた。
- 王のための使役、献金は別。…神殿建設、維持、王宮の経費全般。

新約時代の献げ物

- イエスの時代は、旧約時代の献げ物 + ローマの税が。
イエスは、神殿にもローマにも税を収めるように告げられた。
- イエスが褒めたのは、やもめの2レプタ (50円くらい? 全財産)。
- 教会時代の献げ物は、律法に制限されず、いくらでも献げられる。
惜しみなく、喜んで、豊かに、神の前に心で決めたとおりに。
- 最大の恵みは、自分自身のすべてを献げられること。
きよめられたものとして、主は喜んで受け取ってくださる。

★ 今あるべき、私たちのささげ物 ★

- まず、覚えるべきは、メシアニック・ジューのための献金。
これにより、ユダヤ人と異邦人による教会が堅く築き上げられる。
- 主への献げ物は最上のもの。献金は、一番に取り分けるべきもの。
惜しみなく、豊かに、喜んで、御心に適って、心に決めた通りに。
- 御心に適って献げた者は、すべての必要を満たされ、
あらゆる面で豊かになり、さらに惜しみなく献げるようになる。
主への信仰が証しされ、神の栄光が崇められる。感謝があふれる。

詩篇112篇2~4

ハレルヤ。幸いなことよ

【主】を恐れ その仰せを大いに喜ぶ人は。

その子孫は地の上で勇士となり

直ぐな人たちの世代は祝福される。

繁栄と富はその家にあり 彼の義は永遠に堅く立つ。

直ぐな人たちのために 光は闇の中に輝き昇る。

主は情け深く あわれみ深く 正しくあられる。

詩篇112篇5～8節

幸せなことよ。情け深く人に貸し

自分に関わることを公正に扱う人は。

その人はとこしえまでも揺るがされない。

正しい人はとこしえに覚えられる。

その人は悪い知らせを恐れず

【主】に信頼して心は揺るがない。

その心は堅固で恐れることなく

自分の敵を平然と見るまでになる。

詩篇112篇9~10篇

彼は貧しい人々に 惜しみなく分け与えた。

彼の義は永遠に堅く立ち

彼の角は栄光のうちに高く上げられる。

悪しき者はそれを見て苛立ち 歯ぎしりして消え去る。

悪しき者の願いは滅び失せる。

→ 「彼」が、究極的に示すのは、**主イエス・キリスト**

すべてを献げられ、悪に勝利された、主イエスの栄光が、永遠に世に輝く

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ あがな}罪を贖うために^{じゅうじか し}十字架で死に、

②^{はか ほうむ}墓に葬られ、

③^{みっかめ ふっかつ}三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^{ふくいん}この福音は、^{たみ とお いほうじん}あなたの民を通して異邦人の私たちに^{あた}与えられました。

^{とも しゅ しん}共に主イエスを信じる、

^{きょうだいしまい おぼ ささ}メシアニック・ジューの兄弟姉妹を覚えて献げます。

^{お ゆた よろこ ささ もの}さらに、惜しみなく、豊かに、喜んで献げる者としてください。

^{お あた しゅ あか しゅ えいこう き}惜しみなく与え、主を証しし、主に栄光を帰せますように。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」